

募集テーマ 困りごとや解決したい課題	ICT技術の活用によるクリハラリス及びアライグマの捕獲業務の効率化
めざす姿 どういう状態をめざしているか	・近年、藤沢市内で特定外来生物に指定されているクリハラリスやアライグマの生息密度が上昇していると推測されている。 ・これに伴い、市民からの相談件数は年間1,000件を超え、防除対策にかかる費用も増加しており、従来の対策手法だけでは被害への対応が困難になりつつある。 ・そこで、捕獲数増加によりクリハラリスとアライグマの分布域縮小・個体数減少をめざすため、ICT技術等を活用して以下のような課題解決に取り組むパートナーを募集したい。 ・クリハラリス、アライグマの捕獲における見回りの効率化 ・クリハラリス、アライグマの捕獲檻設置数の増加 ・クリハラリス、アライグマの市内生息数の効率的な把握 ※なお、デジタル技術やロボット等の先端技術を活用した提案で、社会実装に向けた実証を要する場合、「藤沢市スマートシティ推進実証事業補助金」の対象テーマとしてご案内する場合があります。詳細は下記参考資料のURLからご確認ください。
これまでの取組 何を実施してきたか	・生活被害のある市民へ捕獲檻の貸出し ・緑地等においてクリハラリス及びアライグマの捕獲業務委託を実施 ・通信機能付きセンサーカメラを設置し、捕獲状況の確認を実施
民間事業者等のノウハウが活用できると考えている点	・捕獲数の増加に向けた民間の最新技術（ICT技術など）の活用 ・効率的な捕獲の手法
テーマに関する民間事業者等との取組の有無	行っている さらに解決したい困りごと ・市民への捕獲檻を貸出しし、檻の見回りなどの檻の管理は市民に行ってもらっているが、檻の管理ができない場合は、檻の貸出しができないこと。 ・緑地等においてクリハラリスとアライグマの捕獲業務委託を実施しているが、檻の設置場所が限られていること。 ・見回りの効率化に向け、SIMカードを使用した通信機能付きのセンサーカメラを設置し、リアルタイムで捕獲状況を確認しているが、設置台数に限りがあること。 ・検証を行った捕獲感知システムは、大型動物の捕獲の感知に適したものであったため、クリハラリス用の捕獲檻では上手く検知できなかったり、センサーが誤作動したりする場合があること。
募集対象	・解決等に向けて一緒に取り組む提案と実施者を探したい ・解決等に向けた取組のアイデアが欲しい
希望する提案のイメージ	・ICT技術等を用いて捕獲数を増加できるような手法の提案（例：クリハラリスの捕獲を感知できるスマート捕獲檻 など） ・ICT技術を用いて効率的に生息数を把握できる手法の提案
募集期間	2026年（令和8年）8月14日（金）まで
実施希望時期	2027年（令和9年）3月末日まで
提案の選定方法（選定の有無）	■特に選定をしない（提案内容が妥当であれば採用数を絞り込まない） □審査等による選定等を実施（提案内容等を審査・選定し採用数を絞り込む） □提案を参考に、あらためて実施事業者の公募等を実施 □その他（下記のとおり）
藤沢市の提供できるリソース	・捕獲情報 ・捕獲檻 など
予算措置の可能性	有

テーマに関する参考情報等	【藤沢市環境保全課ホームページ】 ・ 野生鳥獣による生活被害について https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/khozen/machizukuri/kankyo/shizenhogo/yaseityouzyuniyoruseikatsuhigainitsuite.html ・ 捕獲檻の貸出しについて https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/khozen/machizukuri/kankyo/shizenhogo/hokakuorinokashidashi.html 【藤沢市共創推進課ホームページ】 ・ スマートシティ推進実証事業補助金 https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kyoso/smartpilot.html
担当課	環境保全課